

1 小学校の実践事例と評価

実践事例 1

授業展開例 (小学校第1学年)

- 1 主題名 はたらくことのよさをかんじて【内容項目 C(12) 勤労、公共の精神】
- 2 ねらい 郵便を配達するくまさんの姿を通して、働くことのよさを感じ、みんなのために働こうとする心情を育てる。

教材名 「森のゆうびん屋さん」(「わたしたちの道徳」小学校1・2年 文部科学省)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値

人間生活を成立させる上で働くことは基本となるものであり、一人一人が働くことのよさや大切さを知ることにより、みんなのために働こうとする意欲をもち、社会に対する奉仕や公共の役に立つ喜びを味わうことができる。このように働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうことを通して、その意義や役割を理解し、それを現在の自分が学んでいることとのつながりで捉えることは、将来の社会的自立に向けて勤労観や職業観を育む上でも重要なことであると考えられる。

低学年の段階においては、何事にも興味をもって生き生きと活動し、みんなのために働くことを楽しく感じている児童が多い。その実態を生かし、自分が行った仕事やみんなのために役に立つことのうれしさ、やりがい、自分の成長を感じられるようにさせたい。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、係活動や給食当番、掃除等に意欲的に取り組もうとすることが多い。その動機としては、作業が楽しかったり、新鮮だったりするからである。また、先生や友達、家族に褒められることで働くことへの意欲につながることもある。

そこで、児童が意欲的に取り組み、働くことを楽しく感じる気持ちを大切にしながら、自分の仕事にやりがいを感じ、みんなのために役立とうとする気持ちを育てたい。

(3) 教材の活用について

本教材は、どんな天気の日でも、毎日心を込めて郵便物を届けるくまさんに感謝する森のみんなの気持ちに、くまさんが気付くという内容である。

本時では、くまさんがやぎじいさんに小包を届けるときの気持ちを自分のこととして考え、くまさんが、みんなのために進んで働いていることに気付かせたい。そして、森のこりすからの手紙を読んだくまさんの気持ちを考えることを通して、自分の仕事や誰かの喜びにつながっていることや自分が働くことはみんなの役に立っていることに気付かせ、「仕事のやりがい」を実感させることを通して働くことのよさに着目させたい。



4 学習指導過程

	学習活動 (○主な発問 ◎中心となる発問 ・予想される児童の反応)	◇指導の留意点
導 入	1 掃除や当番活動をしている様子について振り返る。 ○どんな様子で掃除をしていますか。 ・一生懸命やっている。 ・大変だけど頑張って掃除している。	◇掃除や当番活動を行っている画像を見ながら振り返らせる。
展 開	2 教材「森のゆうびんやさん」を読んで話し合う。 ○くまさんは、どんな気持ちで、みんなに配達しているでしょう。 ・みんなが喜んでくれるといいな。 ・みんなの笑顔が見たくて頑張っている。 ○雪の日に、くまさんは、どんな気持ちで配達したでしょう。 ・大変だけど、運ぶしかないな。 ・雪の日は大変だな。 ・がんばって早く届けなくちゃ。 ・大切な小包をぬらさないようにしなくては。 ◎森のこりすさんからのお手紙を読んだくまさんは、どんなことを思ったでしょう。 ・喜んでもらえてうれしい。 ・仕事を頑張ってよかった。 ・無事に届けられてほっとした。 ・雪の中を歩くのは大変だったけれど、あきらめなくてよかった。 3 みんなのために仕事をした経験を振り返る。 ○みんなのために仕事をがんばったことはありますか。そのときどんな気持ちでしたか。 ・お家でお手伝いをして、「ありがとう」って言われてうれしかった。 ○みんなのために働くとはどういうことなのでしょう。 ○今日の授業を振り返って、分かったことや考えたことをワークシートに書きましょう。	◇郵便がない日でもみんなと話をしているくまさんの様子から、森のみんなに対する思いを考えさせる。 ◇役割演技を行い、「たいせつに」、「ようやく」、「いそぎ足で」の言葉から、仕事の大変さとみんなのために働こうとするくまさんの思いに気付かせる。 ◇みんなに感謝された喜びを感じ、働くことのよさを感じるくまさんの気持ちに共感させる。 ◇みんなのために働いた経験を振り返り、働くことのよさやみんなのために働くことについて考えさせる。 ◇ワークシートの活用
終 末	4 教師の説話を聞く。	◇みんなのために働こうという気持ちにつなげさせる。

5 評価

みんなのために働くことのよさについて、くまさんの姿を通して考えることができたか。

授業記録

学習活動	
(T：教師の発問、問いかけ C：児童の発言、反応)	
導 入	<p>1 掃除や当番活動をしている様子について振り返る。</p> <p>T：これは、みんなが掃除や当番の仕事をしている様子です。どんな様子で掃除や当番をしているのでしょうか。</p> <p>C：楽しそうに掃除をしている。</p> <p>C：ドアのレールは大変だけど、頑張って掃除をしている。</p> <p>C：黒板係の子は高いところが届かないな、と思っている。</p>
展 開	<p>2 教材「森のゆうびんやさん」を読んで話し合う。</p> <p style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; display: inline-block; border-radius: 5px;">問う</p> <p>発問1</p> <p>T：くまさんは、どんな気持ちで、みんなに配達しているでしょう。</p> <p>C：みんな、郵便を嬉しそうに待ってるかなと思っている。</p> <p>C：みんなの笑顔を見たいから頑張ろう。</p> <p>C：みんな嬉しそうにしているな。</p> <p>C：遠い所は疲れるけれど、ありがとうと言ってくれるから頑張ろう。</p> <p>T：くまさんは、このような気持ちで配達していたんだね。</p> <p>T：ある雪の日に、くまさんに小包が届きました。雪で外は真っ白です。「今日は雪だから配達は休もうかな。」と思っているかもしれないね。</p> <p>C：きっと、大変だけど届けようと思っているよ。</p> <p>C：そう思うな。(つぶやき)</p> <p>T：そうですか。でも、雪の日は歩くのも大変だね。</p> <p>C：そうだよ。雪の日に歩いたことがあるけど、転びそうになった。</p> <p>C：私は転んだことがある。</p> <p>C：うん。うん。</p> <p>C：ゆっくりゆっくり歩かないと危ないよ。</p> <p>C：長ぐつを履いて、ゆっくり。歩きづらいな。</p> <p>発問2</p> <p>T：そうですか。雪の中を歩くのは大変なんだね。くまさんは、ある雪の日、かばんの中に小包を大切にに入れて出かけたね。ようやくやぎじいさんの家が見えると、急ぎ足で歩きました。ここに、郵便やさんのバックがあります。くまさんになってやぎじいさんに小包を届けましょう。くまさん役とやぎじいさん役をやってくれますか。</p> <p>[役割演技]</p> <p>T：皆さんは、くまさんの気持ちを考えながら見てくださいね。ではどうぞ。</p> <p>C：(くまさん役) よいしょ、よいしょ。やぎじいさん、郵便です。</p> <p>C：(やぎじいさん役) ありがとうございます。寒くないですか。</p> <p>C：(見ている児童) くまさんは、雪だから歩きづらそうだった。だんだん足がゆっくりになった。</p> <p>T：くまさんは、どんな気持ちで配達したでしょう。</p> <p>C：(見ている児童) あともう少しと思いながら歩いている。やぎじいさん、楽しみに待っているだろうな。</p> <p>T：では、もう一組やってもらおうかな。</p> <p>C：(くまさん役) 無言で歩く。</p> <p>C：(やぎさん役) ありがとうございます。待っていたよ。</p> <p>T：くまさんは、どんな気持ちで歩いていましたか。</p> <p>C：……足が埋まっちゃう。</p>

座席表シートの活用

T：やぎじいさん、届けてもらってどうでしたか。
C：おうちで温かいものを飲んでいるときにくまさんが配達してくれて、嬉しいな。雪だから遅いのかな。くまさんは大丈夫かな。でも届けてくれてとても嬉しかった。

発問3

T：無事に届けられてよかったね。家に帰ったら、こりすさんからの手紙が届いていました。森のこりすさんからのお手紙を読んだくまさんは、どんなことを思ったでしょう。
C：嬉しかった。
C：もっと頑張ろうと思った。
C：郵便を頑張って届けてよかった。
C：もっと仕事しよう。
C：届け終えてほっとした気持ち。
T：どうしてほっとしたのかな。
C：みんなが応援してくれるから。心が温かくなった。
3 みんなのために仕事をした経験を振り返る。

判断する

発問4

T：皆さんもくまさんのように仕事を頑張ったことはありますか。
C：あるある。ドアのすきまにゴミが詰まっていた、掃除をしたら先生に褒められた。ほうきの仕事が楽しくなった。
C：給食が早く食べられるように、当番さんの手伝いをした。当番さんは、白衣を着たり机を拭いたり忙しいから。
T：少し考えてみましょう。くまさんは、郵便を配達するお仕事だけど、お話にあったように雪の日もあるよね。雪がやむまでお休みしてもいいと思うのだけど、くまさんはそうは思わなかったんだよね。どうして思わなかったんだろう。働くことに何かいいことがあるのでしょうか。みなさんも、みんなのために仕事をがんばったことはありますか。皆さんにとって、働くことのよさ、働くことにはどんないいことがあるのでしょうか。隣の人と話し合ひましょう。

[二人一組での話し合い活動]

[全体での話し合い活動]

座席表シートの活用

T：では、発表してください。
C：みんなが帰った後に、先生と机の整とんをした。次の日の友達の顔を思い浮かべると楽しかった。
T：そうだったね。先生もお手伝いをしてくれてとても助かったよ。
C：次の日、机が整とんされていて気持ちがよかった。
C：配り係で、ノートや手紙を友達に渡すと「ありがとう。」と言ってくれるから嬉しい。
C：お仕事すると、みんなの笑顔が見られるから一生懸命しているよ。
C：うん。みんながにこにこしてくれるから頑張ることができる。
C：みんなの役に立てるなって思う。役に立てることをやりたい。
C：みんなのために働くとてもいい気持ちになる。
C：当番として働くと、あんまり話をしたことがない人でも友達になれるからいい。
C：みんながさっぱりした気持ちになるから働くことが楽しくなる。

気付く

T：くまさんの気持ちを通して、働くことのよさとはどういうことか、みんなのために働くとはどういうことなのかを考えました。それでは、今日の授業を振り返って、分かったことや考えたことをワークシートに書きましょう。

ワークシートの活用

T：発表しましょう。

終末

4 教師の説話を聞く。
T：先生のお話をします。先生は小学生の頃、家でお風呂掃除の係でした。嫌だなんて思うときもあったけれど、ある時お父さんに、「いつもきれいにしてくれてありがとう。疲れが吹き飛ぶよ。」と言われてすごく嬉しい気持ちになりました。そして、お掃除を続けていくうちにお風呂掃除が得意になりました。みんなのために働くことは、自分の成長にもつながるんだなって思います。

観察対象児童 H の学びの姿からの見取り

《本時のねらいに関わって、児童Hへの教師の意図》

本時の内容項目「勤労」に関わって児童Hは、当番や係の仕事を毎日丁寧に行っている。くまさんの行動や気持ちを考えることを通して、みんなのために働くよさを感じ取らせたい。

《道徳科の授業における児童Hの姿》

- ・ワークシートに記述することもある。自己評価は色を塗って示すことができる。
- ・ほとんど挙手することはなく、発言もない。
- ・話し合い活動では、思っていることや考えていることを友達に伝えることはない。

評価の場面	評価の方法	児童の活動や反応の場面
「問う」場面	座席表シート	発問2 くまさん役とやぎじいさん役の役割演技を行う。 (意図的指名をする予定だったが、2巡目で挙手をし、くまさん役をする。)
「判断する」場面	座席表シート	発問4 二人一組で話し合う。 (友達の話に黙って聞いている。)
「気付く」場面	ワークシート	自己評価 (「友達の考えを聞いて、なるほどと思うことができた」の項目で一番良い評価マークに色を塗る。) 記述 (「ゆきの日でもはいたつするのがわかった。」と記述する。)

児童Hの授業記録

	学習活動 T：教師の発問、問いかけ	H：児童の発言、反応
展開	発問2 T：そうですか。雪の中を歩くのは大変なんだね。くまさんは、ある雪の日、かばんの中に小包を大切にに入れて出かけたね。ようやくやぎじいさんの家が見えると、急ぎ足で歩きました。ここに、郵便やさんのバックがあります。くまさんになってやぎじいさんに小包を届けましょう。くまさん役とやぎじいさん役をやってくれますか。	H：くまさんとやぎじいさんのお面を体を乗り出して見ている。嬉しそうな表情。 H：挙手をしない。
	[役割演技] T：皆さんは、くまさんの気持ちを考えながら見てくださいね。ではどうぞ。 C：(くまさん役) よいしょ、よいしょ。やぎじいさん、郵便です。 C：(やぎじいさん役) ありがとうございます。寒くないですか。 C：(見ている児童) くまさんは、雪だから歩きづら	H：くまさん役の児童をじっと見ている。やぎじいさんに話しかけるセリフでにっこりと笑う。

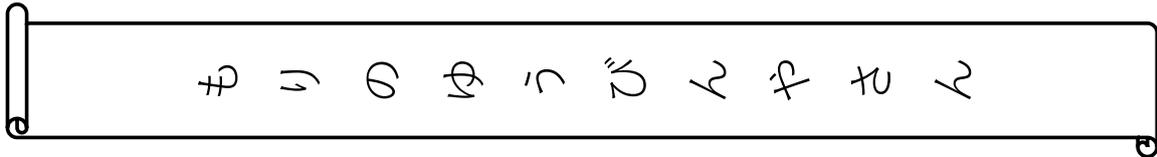
	<p>そうだった。だんだん足がゆっくりになった。 T：くまさんは、どんな気持ちで配達したでしょう。 C：(見ている児童) あともう少しと思いながら歩いている。やぎじいさん、楽しみに待っているだろうな。 T：では、もう一組やってもらおうかな。 H：(くまさん役) 無言で歩く。 C：(やぎさん役) ありがとうございます。待っていたよ。 T：くまさんは、どんな気持ちで歩いていましたか。 H：……足が埋まっちゃう。 T：やぎじいさんは、届けてもらってどうでしたか。 C：お家で温かいものを飲んでいるときにくまさんが配達してくれて、嬉しいな。雪だから遅いのかな。くまさんは大丈夫かな。でも届けてくれてとても嬉しかった。</p> <p>発問 4 3 みんなのために仕事をした経験を振り返る。 【二人一組での話し合い活動】</p> <p>T：くまさんの気持ちを通して、働くことのよさとはどういうことか、みんなのために働くとはどういうことなのかを考えました。それでは、今日の授業を振り返って分かったことや考えたことをワークシートに書きましょう。 (ワークシートに記入)</p> <p>T：発表しましょう。</p>	<p>H：くまさん役に挙手をする。(指名される) H：演技途中で、足をゆっくりと運ぶ。</p> <p>H：演技後の先生の問いかけには、腕を組んで恥ずかしそうに首を振る。「どうかな。言える？」と再度先生から促されると、小さな声で、「足が埋まっちゃう。」と答える。 H：やぎじいさん役の児童からくまさんへのお礼の言葉を恥ずかしそうに聞いている。 H：演技後、友達から拍手をもらう。照れたような表情で何度かうなずきながら自席に戻る。</p> <p>H：となりの友達の顔をじっと見つめている。 H：友達が話し始めると落ち着かないようなそぶりで本のページをめくる。 H：友達から話すよう促されるが、本のページをめくり続ける。 H：(自己評価) 赤鉛筆をもって色を塗る。「じぶんのかんがえをもつことができた。」(できない) 「ともだちのかんがえをきいて、なるほどとおもうことができた。」(できた) 「じぶんのふだんのせいかつをふりかえってかんがえることができた。」(できない) 「これからがんばりたいことをかんがえることができた。」(できない)</p> <p>H：二人目の発表者の言葉を聞いて、今日の授業を振り返って分かったことや考えたことを書き始める。</p>
<p>終末</p>	<p>T：先生のお話をします。</p>	<p>H：先生の話の間も書き続ける。 (「雪の日でも配達するのが分かった。」)</p>

【学習状況の見取り】

1人目のくまさん役演技者をよく観察し、次のくまさん役に挙手をした。役割演技では、雪の中を配達するくまさんになりきって、途中からゆっくりとした歩みの演技をした。やぎじいさん役の友達からお礼の言葉もらったことと、たくさんの雪で足が埋まってしまうにも関わらず、配達をやり遂げようとしたくまさんの気持ちになりきって演技したことを通して、みんなの役に立つことの嬉しさを感じることができた。

みんなが だい () から () 月 () 日 () まで
 なまえ ()

みんな ありがとう



★いろをぬりましょう。

①	じぶんの かんがえを もつことが できた。	  
②	ともだちの かんがえを きいて 「なるほど」と おもうことが できた。	  
③	じぶんの ふだんのせいが つを ありがとう かんがえることが できた。	  
④	これから がんばりたい ことを かんがえる ことが できた。	  

★わかったことや かんがえたことを かきましょ。

